

作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埜田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



創立記念館『アカデミア・ラボ』落成



作新の風ふきおこる

祝・創立130周年記念
アカデミア・ラボ竣工

同窓会会長 安藤 寛樹
(昭和45年卒)

作新学院創立130周年記念事業の一つアカデミア・ラボが竣工しました。構想から4年、新しい形の教育施設で多分、日本では見ることのできない斬新なデザインと機能を備えた施設だと思います。同窓会としても母校にこのような施設が出来たことを大いに喜んでいるところです。学生諸君に勉学にコミュニケーションに利用してもらいたいと思います。

一昨年硬式野球54年ぶりの優勝で盛り上がり、昨年も全員で深紅の優勝旗返還を目標に見事7年連続出場という偉業を達成し、またボクシング部においては全階級制覇を達成し、学生諸君の活躍に大きな拍手を送りたいと思います。

さて昨年は衆議院総選挙がおこなわれました。学院長、船田元先生が見事12回目の当選を果たし、また比例選挙区において高等部22回卒業の佐藤明男さんが、見事初当選いたしました。栃木県で初めて同窓生の衆議院議員誕生でした。元先生共々、大いに国政の場で活躍を期

待したいと思います。

我が同窓会は昨年も多くの事業を行いました。1月の成人祝賀会には370名の参加者で大いに盛り上がりました。若手異業種交流会は100名以上の会員が登録されており、各々の企業紹介や自分の部活動の話、名刺交換など行い交流を図りました。研修旅行は足尾銅山を見学。その後、紅葉のわたらせ峡谷をトロッコ列車に乗り、帰途、日本一のイルミネーションといわれる足利フラワーパークを見学。見事な夜景に感動を覚えました。多くの参加者から次年度の開催もとの声を頂き嬉しく思っています。

これら多くの事業を通し同じ作新の門をくぐった卒業生が“一校一家”の精神の元、学院と同窓会の絆を大切にお互い助け合い協力しあい、地域社会に貢献する事が同窓会の大きな使命と思っています。

最後に作新学院のさらなる発展と同窓生の皆様のご今年1年のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。



作新民の使命を果たすため

作新学院 院長 船田 元

作新学院高校同窓会の皆様、今年の創立132周年式典をはじめ、日頃より学院の様々な活動に対して温かいご支援をいただき、大変ありがとうございます。また先般の衆議院議員総選挙でも、皆様に大変お世話になりました。

お陰様で在校生たちは、硬式軟式野球、ボクシング、自転車、空手、バドミントン、卓球など、全国大会に駒を進めて活躍しております。卒業生も水泳の萩野公介君、ボクシング・ミドル級チャンピオン吉野修一郎君など、世界レベルで活躍中です。

さて今年の創立記念に合わせて、アカデミア・ラボという斬新的な建物をオープンしました。曲線を多用した未来志向の建物ですが、そこで展開する授業もまさに未来志向です。先生が生徒に一方的に教えるという従来の形でなく、先生と生徒が話し合い、生徒同士が話し合っって課題を解決していくという、能動的な教育活動です。

これは私たちの建学の精神「作新民」を一層進展させることにつながります。作新民とは自ら考え自ら行動して、自分自身を常に新しくしていける人材の育成を目指すものです。アカデミア・ラボでの活動はそのような人材の育成に大いに役立つはずで

す。いま世界は大きく変化しようとしています。しかもその方向は必ずしも望ましいものではありません。

例えばアメリカの巨大ハリケーンが毎年のように被害を与え、日本においても30年に一度という

異常気象が毎年発生し、今は100年に一度という現象が現れています。これらは人類が発するCO₂による地球温暖化が原因であり、これを抑制するための国際会議、COP21が2年前のパリで開催され、「パリ協定」が合意されました。加盟各国が今後のCO₂排出量削減目標をプレッジし、その履行状況をチェックしていく仕組みです。しかし中国に次いで第2位で全体の16%を排出するアメリカは、トランプ大統領の宣言により、離脱の手続きを開始しています。

また英国のEU離脱が既に国民投票により決定し、現在離脱の交渉が進められています。英国がEUの官僚的体質や移民の受け入れに嫌気を差したためだと思いますが、EEC以来拡大を続けて来た経済統合が逆回転をはじめたことは、ヨーロッパの混乱を招きかねません。

これらの動きは国際社会が叡智を結集して作り上げた枠組みが、目の前の利益のみに動かされるポピュリズムによって、いとも簡単に崩されるといふ現代の情勢を反映したものに他なりません。

このような動きに疑問を投げかけ、堂々と意見を発し行動していける若者が、このアカデミア・ラボからどんどん輩出されることを、私たちは目指しています。皆様の応援をよろしくお願いいたします。

学院近景





風はワルツに乗って

作新学院 副院長 塩野谷 英彦

正門を入ると、広いグラウンドが出迎え、校章が刻印された校舎の上に、雪をかぶった男体山が悠然と聳える。見事な景観である。赴任当初より、日々鼓舞され続けられた景観である。景観は人を創るというが、まさに作新学院の高邁な精神が、この日々目に映る景観の中で醸成されていくのだと確信している。

先ごろ、第18回宇都宮市まちなみ景観賞にアカデミア・ラボ前の交差点が選ばれた。右に護国神社、左にアカデミア・ラボ、中央に歩道橋。アカデミア・ラボの外観の曲線が、直線的な道路とのコントラストの中で、強調されている。しかも、全面ガラス張りの外観は、生徒の学習室ともなり、夜は煌々と電気を灯し、宇宙船さながらの態をなして闇に浮かぶ。コンセプト・ブックに、「“未来”という大海原を切り拓いて進む『^{そらふね}宙船』とあるように、この空間の中で未来をデザインする旅が始まる。かつて、工事現場の仮囲いが取れた後、何が始まるのだろうとワクワクした高揚感は、ガラスの曲面に囲まれた学習室で、日常と非日常を行きかう魔法の空間に替わり、知の実験場としての機能を果たしている。ここでは、台形上の机がグループワークやプレゼンテーション、ディスカッションとアクティブ・ラーニングの目的に応じて、パズルのように並びかえられ、学びのスタイルも生徒自身がデザインする。豊かな想像力や構想力、発想は、こうした自由な気風の中で育成されるはずである。従来の授業においても、決して一方通行ではなかったはずだ。教師のイメージをどのように伝え、どう伝わったか。絶えず教師

と生徒との相互関係の上で成り立つ緊張感から紡ぎだされる質疑が、いい授業を形作ってきた。確かに、今も昔も真理という価値観を共有することには変わりはない。だが、自ら課題を設定し、解決する能力を育成するプログラムは、従来の授業では備わっていなかった。こうした点にメスを入れ、新しい知の創造を目指したのが、アカデミア・ラボという「宙船」であり、それは単なる空間ではなく知の創造的連鎖によって輝く生命体に他ならない。創立以来、受け継がれてきたイノベーションの精神が具現化した有機体なのである。その魂は、校歌にも息づいている。「光り満ちたり 涯しなき」で始まる校歌は三拍子。校歌のリズムと言えば二拍子か四拍子で、行進曲風で勇ましが漂っているのが普通。ところが、外山雄三氏の曲調はワルツ。流麗なメロディで、作新の風が歌われます。校歌とはかくあるべしといった紋切り型の思考の枠を超えた、作新学院の「革新」が輝いています。その輝きがラボの中で満ち溢れているのです。作新の風は、まさしくワルツとなって、曲線を形作ります。

伝統は、ただ古式を守り抜くことだけではありません。その底流に流れる精神を継承し、その本質を、時代を先取りしながら磨きぬく革新があつて、初めて伝統となります。それを、一番知り尽くしている方々が、同窓生の皆様であることに難くないのです。今日の作新学院があるのは、皆様の平素からのご支援とご協力の賜物だと感謝いたしております。同窓会の益々のご発展をご祈念いたしましてご挨拶いたします。

学院近景



同窓生紹介

さまざまな分野で活躍する同窓生！



誇れる作新へ

真岡市長 石坂 真一
(昭和49年卒)

私は、昭和49年に卒業しました石坂真一です。国会議員秘書17年間を経て、平成7年栃木県議会議員に39歳で当選して以来6期22年を務め、平成29年5月に真岡市長に就任いたしました。

私の在学した男子部は、1学年25クラス1学級60人近い人数が在籍しており、男子部だけでも凄いマンモス校でありました。

当時、グラウンド正面にあった校舎は木造であり、1年生の時は1階で、2階にあった先輩の教室から雨漏りがするような教室でありましたが、今では、それも懐かしい記憶となっています。

在学中の思い出は色々ありますが、小・中等部を含めた全校の体育祭の規模に驚き、1年生男子が上半身裸になって演じる「エッサッサ」は勇ましく壮観なものでした。また、1年生の3学期の体育ではクラス対抗ラグビー大会があり、私のクラスが優勝して多くの生徒が見守る中、先生の選抜チームと雪の降る寒い中で試合をしたことが鮮明に思い出として蘇ってきます。

卒業して40数年の月日が流れ、社会人として作新の同窓生と出会うたびに、歳は違っても母校の話から新たな縁が結ばれる事ができるのも、母校の校訓である「一校一家」の教えに繋がると実感しています。

今、作新学院は、男女共学となり時代と共に進化を遂げていますが、同窓生は勿論、これから大きく羽ばたく在校生にとっても、作新学院の卒業生が誇りをもてる学校として躍進されることを願っています。



どん底から 立ち上げた企業経営

齋藤 幸一
(平成6年卒)

平成6年卒の齋藤幸一です。現在は宇都宮市下川俣町と群馬県太田市で、新品・中古タイヤの販売買取リホイール修理の専門店「アップライジング」と言う会社を経営しております。

作新学院英進部進学科でボクシング部に入部。ボクシング部の主将時代は、全国選抜大会ライトウェルター級でチャンピオンになり、インターハイは団体優勝。日本代表となりオリンピックの強化指定選手として海外の試合にも出ました。プロになるもチャンピオンになれず引退後、健康食品販売で大失敗し借金地獄でどん底を味わいました。その後インターハイライト級チャンピオンの弟、齋藤信行(平成9年卒)と粗大ごみの回収(廃品回収)を開始。回収した中にたまたま良質なタイヤがあり、ネットに出したらすぐ売れました。これを機にタイヤに特化し起業。サラ金にお金を返ししながら、25坪の店舗で自動車の知識経験も全くない所からスタート。

高校時代にボクシング部で学んだ「先手必勝」で、苦しい時にこそ前に出てパンチを出し続ける事をやって行きました。12年たった現在は、店内にある猫カフェ、タイヤ買い取りドライブスルー、無料レンタル会議室、障がい者や引きこもりの積極的雇用等が話題となりTV雑誌等にも多く取り上げられ、海外から見学に来る企業も出てきました。今後も作新学院OBとして日本から世界を変えて行きます。タイヤ買うならアップライジング。応援宜しくお願いします。ありがとうございました。

 HOTEL NEW ITAYA
<http://www.newitaya.com/>

植田 昌弘 (昭和56年卒) 原田 欣明 (昭和62年卒)
福田 吉信 (平成6年卒) 白石 希 (平成20年卒)
宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511

イマイズミ (宝石・貴金属)

リフォーム・修理もご相談下さい。

代表取締役会長 今泉 臣夫 (昭和37年卒)
宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

栃木県で初めて 同窓会の衆議院議員誕生



作新学院と私

佐藤 明男

(昭和45年卒)

昭和45年卒業の佐藤明男です。この度、昨年10月に行われた第48回衆議院議員総選挙の比例北関東ブロックで衆議院議員に当選いたしました。

私は、昭和45年に母校を卒業後、明治大学政治経済学部を卒業し、大学の先輩の紹介で自由民主党栃木県支部連合会に入所いたしました。爾来、衆・参両院の選挙を15回、知事選挙を11回、統一地方選挙を10回、それぞれの選挙を裏方として経験させていただきました。政治の世界でありますから、順風満帆な時ばかりではありませんでしたが、苦しいときいつも思い出す言葉が作新学院の校訓である「一校一家」でした。公私ともに、多くの友人に助けを頂きながら仕事を全うすることが出来ました。仕事柄、高校時代の友人たちと頻りに会うことは出来ませんでした。数年に一度のクラス会で旧友たちとの邂逅が何よりも楽しいひと時でした。

一昨年の8月には、硬式野球部の全国制覇を甲子園球場で観戦し、選手や応援団の皆さんから今までに味わった事のない感動を頂きました。作新OBでよかったと改めて実感いたしました。

在学中は、社会研究部に所属し、年に一度、県内の中学生を対象とした弁論大会を聴蛙館で開催していました。顧問の船田元先生からは、物事に真摯に取り組む姿勢や人を思いやる心など、多くの教を頂きました。

今回の選挙での当選は、正に、青天の霹靂でしたが、今後は、学院長の船田元先生をはじめ先輩議員のご指導の下、「一校一家」の精神を忘れず、甚だ微力ではありますが、与えられた職務に取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

船田元先生の 当選を祝して

副会長 三村 松司

(昭和35年卒)

昨年10月22日に行われた第48回総選挙で、船田元先生が圧勝で12回目の当選をしました。投票箱が閉じると同時に当確が打たれ、選挙事務所内は喜びに包まれました。本当におめでとうございます。

昭和54年4月、祖父の中先生が83歳で急逝。当時栃木県知事の譲先生は、中先生の後継者を定める際、公正を期し、選考委員会に委ねた結果、25人全員が元先生を推薦。当時、作新学院総務部長の元先生も腹を固め出馬を表明し、同年10月の第35回総選挙(中選挙区制)で初当選を飾りました。25歳11か月で全国最年少(当時)でした。その後順調に当選を重ね、政務次官等の要職を歴任。平成4年には、史上最年少(当時)39歳で国務大臣(経済企画庁長官)に就任し、知性・血筋の良さから政界のプリンスと呼ばれました。平成8年、初の小選挙区制では民主党現職を大差で破り、一步一步、歩を固めていきました。しかし好事魔多し。平成12年、民主公募の女性候補に苦杯を喫し、同15年に議席を奪還、同17年にも当選したものの、自民党が記録的大敗を記録した同21年には、二度目の落選。熱心な支持者は言葉を失いました。

しかし二つの負け戦は、元先生を一回りも二回りも大きくし、緩み・油断を反省した後援会も、強固な一枚岩の組織に生まれ変わりつつあります。元先生がこれからも当選を続け、後顧の憂いなくライフワークの憲法改正に打ち込めるよう、私共は銃後の守りをなお一層強固にしたいものです。元先生、健康に留意し、これからも益々頑張って下さい。



産業廃棄物処理 家屋解体工事のことなら
株式会社 ウスイ産業

代表取締役 白井伸太郎 (平成5年卒)

栃木県宇都宮市北若松原2-11-7 TEL 0285-56-8720

株式会社 コスモ鋼業

代表取締役 遠藤 盛 (昭和58年卒)

宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330

s-endo@cosmo-kogyo.co.jp

作新学院高等学校同窓会

平成29年度 定時総会

総務企画部 古谷 祥一 (昭和58年・35回卒)



平成29年度作新学院同窓会定時総会は、平成29年6月16日ホテルニューイタヤで、船田元学院長・作新大学渡辺学長・衆議院亀岡偉民代議士代理・吉羽県議会議員・各市議会議員等多くのご来賓のご臨席のもと、約80人の同窓生が参加し開催されました。

総会では、吉高神渡副会長(昭和45年卒)の開会宣言の後、会場に掲げられた「作新学院旗」のもと、全員で校歌を斉唱しました。安藤寛樹会長(昭和45年卒)の主催者あいさつでは、硬式野球部の夏の全国大会54年ぶり2度目の優勝、リオのオリンピックで活躍した萩野公介選手、清水咲子選手等の偉業を称えるとともに、アカデミア・ラボ完成など物心両面での母校の躍進への喜び語った。また日頃の同窓会活動への母校の支援と協力に対し、会を代表して感謝の気持ちを伝えました。

来賓として出席された船田元学院長の祝辞では、創

立130周年記念事業であるアカデミア・ラボの完成と、施設の紹介とともに、施設を活用し最先端の教育を構築していく方針が示されました。また、在校生やOBの甲子園・オリンピックでの活躍に触れ、建学の精神「作新民」「作新魂」が背景にあるものとしながらも、この「作新民」「作新魂」は結果が出ない時や不調の時でも自分をコントロールし、次の勝利に繋げていく不屈の精神であることも紹介されました。最後に同窓会活動と作新学院は、車の両輪のごとくお互いに協力しあって、がんばっていきましょうと祝辞を締めくくられました。

議事は、青年部の福田 裕(平成4年卒)、山形哲也(平成10年卒)を議長団に選出し審議に入りました。

第1号議案・平成28年度事業報告並びに決算について

・平成28年度基本特別会計報告について

第2号議案・同窓会基本財産特別会計取り崩しについて

第3号議案・平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

第1号～第3号議案まで慎重審議の結果、原案通り承認され、小牧 英夫副会長(昭和56年卒)の閉会のことで、定時総会は無事終了しました。

総会終了後、「第98回全国高等学校野球選手権大会」において栃木県史上初めてとなる6年連続12回目の出場で、見事54年振り2度目の優勝を果たした作新学院硬式野球部から、岩嶋敬一部長をお招きして「特別講話」を開催し、終了後懇親会へと移って行きました。



株式会社
Roo 企画装飾
代表取締役会長 関 正三 (昭和24年卒)
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32
TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579

電気工事・通信工事・設計施工
中央電機通信株式会社
代表取締役 設楽厚夫 (昭和47年卒)
宇都宮市中戸祭1丁目9番12号 TEL 028-622-9331

作新学院高等学校同窓会

第43回 新年会・新成人祝賀会の開催

事務局長 天野辰美(昭和45年卒)



平成29年1月7日(土)「作新学院高等学校同窓会第43回 新年会・新成人祝賀会」を、宇都宮市内のホテルニューイタヤに於いて開催いたしました。吉高神同窓会副会長の「開会の言葉」に続き、夏の甲子園球場に最後まで轟きわたった「作新学院歌」を、誇らしさを胸に参加者全員で斉唱しました。安藤寛樹会長の主催者あいさつの後、新成人者代表 鈴木聡馬さん、佐藤紗彩さんに安藤会長・福田副会長から花束の贈呈を行いました。



作新学院 船田元学院長の来賓祝辞では、卒業生の萩野公介選手・清水咲子選手のリオ・オリンピックでの活躍、第98回全国高校野球選手権大会での54年振りの全国制覇など、作新学院にとって平成28年夏は実りの多い夏だったとし、その努力をたたえ「作新民」は、どんな困難に立ち向かおうと決して諦めない不屈の精神を持たなければならないと、これから社会の荒波に船出する新成人にエールを送りました。

新年会・新成人祝賀会後の懇親会では、冒頭でリオ・オリンピックで金銀銅メダル4個を獲得した萩野公介選手の活躍、硬式野球部の6年連続12度目の甲子園出場とその後の全国制覇の軌跡がDVD放映されると、会場にも作新の風が吹き起こり、改めて皆で喜びを分かち合いました。

平成27年卒業の新成人者と、まだあどけない顔立ちで入学し、勉学や部活動・学院祭・合唱祭、更にエコキャップ回収、足尾での植林活動、被災地支援活動等の社会貢献活動により人間力を身につけ学院を巣立っていった教え子たちの、さらに成長した姿を見ようとご参加頂きました50人を超える担任の先生や教職員の皆さんを中心に、再会を喜び合う輪が広がるなか、盛況のうちに懇親会はお開きとなっていきました。



(総合建設業)

中村土建株式会社

代表取締役社長 渡邊 幸雄(平成4年卒)
宇都宮市大曾4-10-19 tel:028-622-6581

仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

専務取締役 仲田陽介(平成3年卒)

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151

同窓会恒例視察・研修

秋の足尾トロッコ列車の旅

文化厚生部会長 遠藤 盛 (昭和58年卒)

今回の同窓会文化厚生部主催研修旅行は前年に続き地元の歴史探訪第2弾『秋の足尾トロッコ列車の旅』。参加者25名の研修旅行となりました。足尾は江戸から昭和に至り発展衰退し、また発展しては糾弾された稀有な歴史を刻んできた土地であります。明治10年古川市兵衛氏が閉山同然の足尾銅山を買収し、その4年後有望な鉱脈を掘り当てたのが明治14年。ちなみにその4年後の明治18年は船田兵吾先生が作新学院の前身下野英学校を設立された年であります。バスは日光連山の紅葉の中一路足尾に向かい、足尾環境学習センターへ到着しました。館内では足尾銅山の歴史と近隣の土地に及ぼした環境問題を解りやすく説明して頂きました。近代日本の成長の礎となった足尾の山々は物言わず我々に何かを語りかけているようでした。バスは国道122号線(東国文化歴史街道)を南下し群馬県みどり市の草木ダムに到着。ドライブインにて昼食をとり、その駐車場に隣接する富弘美術館を見学しました。この地を故郷とする星野富弘氏は事故で手足の自由を奪われ、口に筆をくわえて詩画や随筆を創作している人物で、美しい山並みと清流の中でその作品は「生きる」ことへの感謝の念が溢れているようでした。旅路の後半はわたらせ渓谷鐵道のト



ロッコ列車での移動です。草木ダムより数分^{ゴウド}で神戸駅に到着。山間の小さな駅舎は昭和の佇まい。観光客が列をなし、コーヒーの売子が列車の到着まで走り回る賑わいでした。色づいた山あいを抜ける景色は壮観でしたが、当日は曇天で気温も低く、窓のないトロッコ列車はまさに我慢大会。大間々駅で下車しバスを乗り継ぎ向かうは最後の見学地あしかがフラワーパーク。日本3大イルミネーションと評判通り、400万球のイルミネーションはその規模と幻想的な演出で想像を超えるものがあり、今や一年中楽しめる栃木の誇る観光スポットとして成長していきました。

「作新祭」に参加して

文化厚生部副部長 小野 朋之 (昭和61年卒)

同窓会は、平成29年9月1日(金)～2日(土)作新学院一の沢キャンパスで開催された、学校行事の一つである創立132周年記念「作新祭」に参加しました。グラウンドに設営されたフードコートには、生徒達によって60近くそれぞれの工夫を凝らした模擬店が出店され、会場内特設ステージでは、生徒たちの手で自主運営されたエネルギッシュなイベントが、次々に開催されていきました。テント3張りを使った同窓会ブースでは、餃子・ポップコーン・パン・おにぎり等の販売を行いました。特に事前の会議で今回から販売を試みたフランクフルトが、翌日分を前倒し販売するほどの好評を博し

ました。この「作新祭」参加によって、同窓会という組織を身近に感じて貰い、また間もなく同窓会会員となる在校生と少しでも同じ思いが共有できたことに、OBとして喜びを感じる2日間となりました。



Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

取締役会長 伴 清 (昭和35年卒)
 代表取締役 伴 誠 (昭和62年卒)
 生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)
 宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525

作新学院 親交会

会長 荒井 祥

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

作新学院高等学校『第4回 若手異業種交流会』



交流会実行委員長 本澤 崇 (平成2年卒)

作新学院高等学校同窓会の皆様、仕事やプライベート共に益々のご清栄のこととお喜び申し上げます。

今回、第4回目の若手異業種交流会の開催の報告をさせていただきます。

まず、皆様は作新学院高等学校を卒業する際、同時に同窓会に入会していただいております。しかしながら、卒業後の交流が少なく同窓会の活動を認識していない卒業生も多く見受けられます。また、卒業生は約12万人を越え、県内は勿論、日本一であります。その様な状況ですから、作新同窓生であることすらも知らずに日々の付き合いをしていることを多々見受けられますし、何処かで行き会おうと、「作新卒？」のような会話は日常茶飯事です。

これらを少しでも打開するに、作新の風を吹きおこし、まずは卒業生の裾野を広げるために、去る平成29年9月30日(土)、ホテルニューイタヤにて船田元学院長、安藤会長と共に50数名で開催いたしました。

交流会では、安藤会長より同窓会活動を知っていただくために、現在の組織「総務企画部」・「組織財政部」・「広報部」・「文化厚生部」・「青年部」5部の活動や、若手異業種交流会の趣旨説明を行い、その後この交流会の可能性や動向を見出すために、参加者の考えや想いを、自己紹介を兼ね学生時代の思い出と共に全員にコメントを頂きました。卒業生の発言は各世代、力みなぎるものであり、改めて作新の力強さを感じられる有意義な時間であったと思います。

今回で4回目ということもあり、徐々に裾野の広がり、会の目的である同窓会の周知に貢献できていると感じるところもありますが、まだまだ卒業生は数多くおります。従いまして様々な可能性を広げるため、今後の開催も検討しております。その際は、これまで同窓会と関係が薄い卒業生等にお声掛けいただき、是非ともご参加くださいますよう宜しくお願いします。

作新学院高等学校 P・T・A

平成24年度優良PTA文部科学大臣賞 受賞

会長 片柳 二郎

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

北都電工株式会社

代表取締役 荒井 健次

常務取締役 荒井 博幸 (平成2年卒)

宇都宮市上野町6076番地15 TEL 028-662-1542 FAX 028-663-4112

(有)坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 坂本 昭 (昭和31年卒)

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003

FAX 028-632-9148

太平産業開発(株) (太陽光発電事業)

代表取締役 熊倉 正敏 (昭和35年卒)

宇都宮市上小倉町2616-1 ☎028-624-2156

東京作新会の活動

東京作新会会長 君島孝夫 (昭和40年卒)

作新学院同窓会の皆様、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。東京作新会総会には同窓会副会長の三村松司様と事務局長の天野辰美様にご参加いただきありがとうございます。また新たにご参加頂きました大谷光男様にはこれからも親睦を深めて頂きたいと思っております。今年も若い同窓会員が参加されるようで楽しみです。また、作新学院の教育方針であります「自学自習」「誠実勤務」「一校一家の精神」そして「人間力」の育成など、いつも母校作新学院を誇りに思いながら過ごしております。

私は北海道夕張市に住んでいますが、作新学院卒業生で日本ハムファイターズ「石井一成選手」が一軍で活躍している、札幌ドームでの試合には時々、応援に行っています。日ハムファンの中では人気者です。(作新学院の後輩頑張れ)

東京作新会としてこれからも存続して活動していくためにも、会員増強に力を入れていきます。東京

近郊の作新学院卒業生の方々の入会をお待ちしております。ご連絡ください。世話人一同お待ちしております。



東京作新会 世話人	
連絡先 君島孝夫	☎0123-57-7811
鶴巻克雄	☎0424-21-0177
相場啓介	☎03-5453-1616
北村文子	☎03-3918-9904
海藤政子	☎03-3392-7032
落合明子	☎048-269-2020

作新学院二里山会と同窓会とのかかわりについて

二里山会会長 菅谷充司 (昭和53年卒)



「先生」と呼ばれる人たちも、かつては「生徒」だった——そんな当たり前なことを、この会は思い出させてくれます。

「作新学院二里山会」は、作新学院を巣立った後、再び母校に戻って奉職した教職員の親睦団体です。現在の会員数は140名。所属の内訳は、高等学校68名、中等部12名、小学部8名、幼稚園10名、事務局22名・大学短大教職員20名となり、これは作新学院教職員全体の人数の約3分の1に相当する数かと思えます。

主な活動としては、年1回開催の「総会」と、ご退職された方の送別会と新規加入会員の歓迎会を兼ねた「懇親会」の開催があげられます。また、同窓会活動に対する参加協力も、微力ではございますが、随時行っております。

平成29年度の「総会」は、7月20日(木)に学内

で行われ、同日夜には宇都宮市内のホテルで「懇親会」を開催いたしました。懇親会には、会員有志だけでなく、ご多忙中にもかかわらず、同窓会幹部の方々のご臨席をも賜り、終始和気藹々とした雰囲気のもと、楽しいひとときを過ごすことができました。

私たちには、在学していた時期こそ年齢に応じてそれぞれ違えど、作新の生徒として過ごした者のみが共有する時間とその記憶があります。時を遡っては、恩師や共通の友人の話題など、思い出話に花が咲き、明日からの仕事への活力を蓄えることができました。

母校の教壇に立つ者に何ができるか——これは私たちが常に気に掛けていることですが、この日の充電で、「作新学院の生徒であることに誇りを持つ」ことを、今の生徒に確実に伝えていかなければならないという使命を、再認識した思いです。

宇賀神工業 株式会社
 代表取締役 宇賀神 真一 (昭和57年卒)
 鹿沼市千渡1605-88 ☎0289-64-4141
 ugajins1@ninus.ocn.ne.jp

(株) 安藤設計 (一級建築士事務所)
<http://ando-sekkei.jp/>
 代表取締役会長 安藤 英夫 (昭和43年卒)
 代表取締役社長 安藤 寛樹 (昭和45年卒)
 取締役総務部長 安藤 篤史 (平成9年卒)
 宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

今年成人を迎えられる卒業生

英進部

ご成人おめでとうございます。

ご成人おめでとうございます。新成人の皆さん、ご家族の皆様にご心からご祝詞を申し上げます。

懐かしい先生方からお祝いのメッセージが届きました。青春の一瞬^{ひととき}を振り返り、今を見つめ、未来に向けて力強く歩んで下さい。

“Where there is a will, there is a way.” 今後の人生、自分オリジナルの道を切り開いて、勇敢に歩いていてください。(天谷裕子) 高校時代の君達のように、人は人との関わりあいの中で育っていきます。これから先も人との出会いや繋がりを大切に、笑顔で元気に過ごせることを切に願っています。(加藤友幸) 二十歳を迎え、これまでの成長を支えてくださったご家族を始め周囲の方々への感謝の気持ちと、これから社会を創る人間となることへの責任の重さを感じていることでしょうか。自分はもちろんのこと、あなたの周りにいる人々を幸せにできるような、立派な大人になってください。皆さんの大いなる活躍を期待しています。(勝間田景子) 卒業して早2年。未だに私の中では制服姿の皆さんが夜9時まで頑張っていた姿が思い出されます。受験勉強で培ったものがどれほど大切なものか、今ならきっと分かると思います。皆さんの宝物にしてくださいね。(赤松淳) 素敵でカッコいい大人になってください。(深澤貴行)

平成27年度 英進部 第3学年主任 石橋 一 誠



平成27年度卒業時の第3学年担任の先生方

小林建築設計事務所(一級建築士事務所)

代表 小林 基 (昭和48年卒)

宇都宮市宝木町2-944-13 ☎028-652-1770
m-koba@moon.ucatv.ne.jp

1952年創業 あなたの街の「ぜいりし」さん


尾花税務会計事務所

〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2

(「ミストフ 鹿沼西茂呂店」となり 茶色の2階建てが目印)

ご相談専用ダイヤル ハロー オバナ
0120-806-087

(株)山登塗装工業(建築・塗装・吹付工事)


 取締役会長 酒井 康雄 (昭和43年卒)
代表取締役 酒井 宏泰 (平成 8年卒)

宇都宮市砥上町247-4 TEL 028-648-3116

(有)川口写真館

代表取締役 川口 修一 (昭和44年卒)

宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

総合
進学部

今年成人を迎えられる卒業生

ご成人おめでとうございます。

新成人の皆様、成人おめでとうございます。そして、今日の良き日を迎えられました両親、ご家族の皆様におかれましても心からお祝い申し上げます。

いま世界は、科学技術の爆発的進歩により複雑に高度に、そして急速に変化しています。今までの知識や技術のみではなかなか対処できない諸問題も数多く出てきました。それを解決、発展させられるのは作新で培った知恵と心です。日本文化の良さを継承しつつ、すべての人々が豊かに、幸せに生活できる社会を構築していくことが皆様のこれからの社会的役割だと思います。『私たちがこれからの日本を作っていく』気概をもって生きてください。

今日は、皆様をお祝いする日でもあります。育ててくれた両親や、周りの人たちに感謝する日でもあると思います。20歳という節目を祝し、大いなる飛躍を期待しています。

平成27年度 総合進学部学年主任 吉田 渉



平成27年度卒業時の第3学年担任の先生方



株式会社 帝都 (葬祭業)

代表取締役 秋葉 秀樹 (平成5年卒)

那須塩原市豊町13-9 ☎0287-62-3131

手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高 神 渡 (昭和45年卒)

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

うつのみや
名物野菜タップリ! グルメも納得!
新三の薄皮餃子

『割烹弁当』の新三

代表取締役 鈴木 郁 夫 (昭和24年卒)

宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

(総合建設業)



株式会社 新生工業

代表取締役 櫻井 英 治 (昭和57年卒)

宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502



今年成人を迎えられる卒業生

ご成人おめでとうございます。

作新学院を巣立った皆さん、「晴れての成人の儀」誠におめでとうございます。

さて、皆さんが過ごしてきた20年はどんな景色だったのでしょうか。振り返ると多くの方との絆に支えられ今日を迎えられたのではないのでしょうか。赤ちゃんだった頃は忘れてしまったかもしれませんが、日々、誰かに支えられ、支えあって生きてきたことを思い出してください。その絆が皆さんを後押ししています。

成人となった皆さんは、一人前の「おとな」として生きていくことになり、自分自身の大きな選択や決断の一つひとつしていかねばいけません。どうぞ夢と希望と勇気を持って、ご自分の道を進んでいってください。

最後に、どうか皆さんの将来が晴れやかでありますようにお祈りするとともに、作新の誇りを胸に自分にとって最高の人生を歩んで行くことをご期待申し上げます。

平成27年度 情報科学部 第3学年主任 鈴木武雄



平成27年度卒業時の第3学年担任の先生方

日建工業株式会社

代表取締役 吉川 泰行 (平成2年卒)
 宇都宮市岩曾町179-4 ☎ 028-625-5021
 FAX 028-625-7523
 E-mail : yasuyuki@nikken-kogyo.jp

(有)朋友塗装工業(建築・塗装・吹付工事)

代表取締役 小野 朋之 (昭和61年卒)
 宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082
 FAX 028-639-7220



(総合建設業)

末長建設株式会社

代表取締役 末長 修一 (昭和57年卒)
 宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675

(株)本澤建築設計事務所

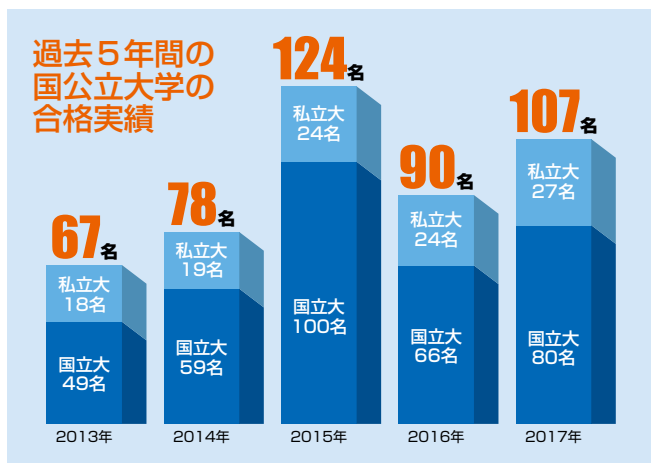
<http://www.honzawa-net.co.jp/>
 代表取締役 本澤 崇 (平成2年卒)
 専務取締役 本澤 淳 (平成5年卒)
 宇都宮市川田町1223-27 ☎ 028-645-0607

昨年度の進路状況

～ 東北・九州2・九州歯科・筑波3・広島2など**国公立大学に107名**、
慶應・早稲田・上智・東京理科・MARCHレベル以上の難関私大に**67名**が合格!! ～
宇大に14名・新潟大に10名合格 医学部医学科に6名が合格

平成29年度入試の国公立大学合格者は、107人（国立大学80人＜うち現役75人＞、公立大学27人＜うち現役26人＞）であった。主な合格大学としては、・東北大3・九州大2・筑波大3・横浜国立1・広島大2・東京藝術大1・東京学芸大1・電気通信大1・千葉大2・埼玉大1・新潟大10・静岡大2・九州歯科大1・首都大東京1・大阪市立大1などが挙げられる。このうち、東北大学への合格は薬学部、新潟大学では1名が歯学部
に合格を果たした。地元の宇都宮大には、教育学部2人・国際学部1人・地域デザイン科学部2人・工学部5人・農学部4人の計14人が合格を果たした。

一方、私立大学における主な合格大学としては、慶応大2・早稲田大4・上智大2・東京理科大11・立教大6・明治大15・青山学院大5・中央大10・法政大9・立命館大3・芝浦工業大9・明治学院大2・東京医科大（医）1・獨協医科大（医）2・岩手医科大（医）1・埼玉医科大（医）1・川崎医科大（医）1・日本大（歯）3・東京歯科大（歯）3・日本歯科大（歯）1・星薬科大（薬）1・東京薬科大（薬）1・北里大（薬）1・日本大（薬）1・城西大（薬）1・国際医療福祉大（薬）5などが挙げられる。



専門学校への進学は、「地元志向」が強く進学者の8割が県内の専門学校である。調理、栄養、服飾系、医療系（看護・歯科衛生・医療福祉）に進学した。看護系では男子の進学が増えたことは特筆できる。また、美容系の人気も根強い。近年ホテルやブライダルプランナーな

どサービス系に進学する生徒が増加傾向である。専門的に学ぶことで、将来活かせる資格を取得することを目標に堅実な進路選択をしている。専門学校は多岐の分野があり、行きたい専門学校を選び未来を見据えた進路選択をし、合格を果たした。

就職に関しては、今年度求人企業数は1,381社を厳選したため、前年比223社減となった状況である。傾向としては、昨年同様、関東地区での建設業・外食産業での求人が多く見られた。今年度の求人増の企業としては、製造業の業績向上が追い風となって、高校生の“売り手市場”が続いていると考えられる。一方では、医療・福祉分野にける、深刻な人手不足がまだまだ続いている状況となっている。昨今、就職戦線では「コミュニケーション能力」「仕事に対する意欲」「十分な基礎学力」「面接での表現力」が求められる傾向にあるが、学院では各学年で行われたキャリアガイダンス、インターンシップによる就業体験、人事担当者および関係機関（ハローワーク、労政事務所など）による「企業が求める人材、求められる人材」などの就職講話、外部講師による「ビジネスマナー」、卒業生による体験談の実施などが功を奏し、早い時期に昨年の内定率を上まわった。こうした状況によって、例年同様、3月末にはほぼ100%の内定率を達成することができた。

平成28年度卒業生 進路

部	進路	卒業生					
		卒業生	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校 (字體校を含む)	その他
英 進 部	男	145	119	294	1	24	1
	女	109	89	210	2	17	1
	計	254	208	504	3	41	2
総合進学部	男	231	161	194	1	41	27
	女	179	84	96	25	79	12
	計	410	245	290	26	120	39
情報科学部	男	248	30	30	0	76	142
	女	197	19	19	16	73	89
	計	445	49	49	16	149	231
総 計	男	624	310	518	2	141	170
	女	485	192	325	43	169	102
	総計	1109	502	843	45	310	272

運動部 spots

**国民体育大会 笑顔つなぐえひめ国体・
インターハイはばたけ世界へ南東北総体など各種競技で優秀な成績。**

第1回 BFA U-18女子野球アジアカップ

<女子硬式野球>優勝

遠藤香菜子(総2) 渡辺 那奈(総2)

第72回 国民体育大会 ^{えがお}笑顔つなぐ えひめ国体成績

<自転車競技>

宇賀神怜真(総3) スプリント 2位
 福田 滉(総3) ケイリン 6位
 チーム・スプリント 7位
 宇賀神怜真(総3) 幸田 望夢(情3)

<ボクシング>

佐藤 奨(総3) ライトウェルター級 3位
 堀川 龍(情2) ライトフライ級 5位
 根本 元太(情2) フライ級 5位
 築 丈一(情3) ライト級 5位

<水泳競技>

遠藤 光(総2) 少年男子B400m自由形 6位

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

<自転車競技>

宇賀神怜真(総3) スプリント 2位
 福田 滉(総3) ケイリン 4位
 落合 悠斗(情3) 4km速度競走 5位
 チームスプリント 6位
 福田 滉(総3) 幸田 望夢(情3) 宇賀神怜真(総3)
 小口加奈絵(総3) 女子スクラッチ 8位
 学校対抗 トラック 6位 総合 7位

<水泳競技>

遠藤 光(総2) 1500m自由形 2位
 遠藤 光(総2) 400m自由形 7位

<ボクシング>

佐藤 奨(総3) ライトウェルター級 3位
 堀川 龍(情2) ライトフライ級 5位
 築 丈一(情3) ライト級 5位
 加藤 千龍(情2) ミドル級 5位

<バドミントン>

女子ダブルス 5位
 榎谷 志穂(総3) 佐川 智香(総2)

全国大会成績

<ゲートボール>

全国ジュニアゲートボール大会
 女子1部クラス 3位
 ジュニア女子1部クラス 第3位
 大島 衣織(情3) 川上 佳純(情3) 井上由季奈(総3)
 飯島 舞花(英2) 正村 陽(情1) 大島 果純(情1)
 福島有紀乃(情1) 山川 彩奈(情1)
 ジュニア男子1部クラス ベスト8
 小峰 大輝(情3) 松石 浩明(総3) 竹澤 史(英3)
 上田樹稀也(総2) 福田 祥史(総2) 芦沢 賀盛(総2)
 小川 藍瑠(総2) 板垣 真一(総2)

<パワーリフティング>

全日本高等学校パワーリフティング選手権大会
 堀内 梨生(総3) 52kg級 1位
 小堀 美穂(英3) 57kg級 1位
 森田 愛己(総1) +72kg級 1位
 渡邊 憲(情2) 93kg級 1位
 益子 直己(総3) 74kg級 2位
 増田 有香(総3) 63kg級 2位
 福地 倭大(情2) +93kg級 3位
 金田 結衣(総1) 72kg級 5位
 女子団体 優勝
 男子団体 3位

<バドミントン>

ジュニアオリンピックカップ第36回全日本ジュニア選手権大会
 シングルス 3位
 佐川 智香(総2)

第8回全国女子硬式野球ユース大会


<女子硬式野球>ベスト8

門間 瞳(総2) 坂本 菜緒(総2) 黒尾 由衣(総2)
 遠藤佳菜子(総2) 大塚 明奈(総2) 岡本 寧々(総2)

東野交通(株)
 高梨 義久 (平成3年卒)
 外山 文昭 (平成11年卒)
 宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

総合建築資材商社
株式会社 白木屋
 代表取締役 黒崎 裕康 (平成3年卒)
 宇都宮市天神1-1-33 ☎028-633-3327
<http://www.shiroki-ya.jp/> FAX 028-633-0792

 **福宮建設株式会社(総合建設業)**
 専務取締役 福田 裕 (平成4年卒)
 宇都宮市鶴田町1462-1 TEL 028-648-7070 (代)

(総合建設業)
 **芳賀屋建設株式会社**
 代表取締役 関 明彦 (昭和61年卒)
 宇都宮市築瀬 4-12-28 TEL 028-638-2000

青木 萌(総2) 石崎 友理(総2) 中村優香奈(総2)
 橋本陽菜多(総2) 半田 莉子(総2) 渡辺 那奈(総2)
 赤堀 実夢(情2) 秋元 蘭(情2) 廣井 遥(情2)
 高坂 愛海(総1) 芝沼 佳奈(総1) 古矢奈都望(総1)
 金山 歩夢(総1) 角田 麗菜(総1) 上岡 なつ(総1)
 金子 桃々(総1) 大場 凜(総1) 生井 美桜(総1)
 金子 桃佳(総1) 関 桃子(総1) 秋元 愛美(総1)
 伊藤 凜花(総1) 本間 茜梨(総1)

●弓道部

- 第62回 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)
 弓道競技大会 はばたけ世界へ南東北総体
 <弓道部>男子個人5位
 鈴木啓太(総2)
- 第72回 国民体育大会 弓道競技大会 少年の部
 愛顔つなぐえひめ国体
 <弓道部>男子団体 近的の部3位 遠的の部3位
 熊倉拓磨(総2) 鈴木啓太(総2)



右から 監督:宮澤章啓(足工大附 弓道部顧問)
 選手: 錦木篤(鹿沼2)、熊倉拓磨(作新2)、鈴木啓太(作新2)と、「みきゃん」

今年度の全国大会では、インターハイで男子個人5位、国民体育大会で男子団体3位の成績を残すことができました。一射絶命の弓道競技においては、メンタルのコントロールが勝負を大きく左右することになります。極限の緊張感の中では、応援が大きな力になることは言うまでもありません。大会期間を通して、声を嗄らして応援して下さった方々にはもちろん、日頃から弓道部を支援して下さっている方々に感謝いたします。また、そのようなたくさんの方々が応援して下さる中で、良い結果が出せたことをとても嬉しく思います。本当にありがとうございました。

まだまだ未熟ではありますが、周囲に感動を与えられるような弓道部にしていきたいと思っています。弓道を通じて自らの人間力を磨こうと努力する作新学院弓道部

の応援を、今後ともよろしくお願ひいたします。
 (弓道部 柏木崇哉 顧問 記)

●自転車競技部

はばたけ世界へ南東北総体2017『繋がる絆魅せよう 僕らの若き力』をスローガンに平成29年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会が7月27日～29日まで、福島県いわき市のいわき平競輪場で開催されました。作新学院自転車競技部から個人、団体を含めて男子7名女子1名が出場しました。

スプリント種目では、総合進学部3年の宇賀神怜真が予選を2位で通過、順調に勝ち上がり決勝で崇徳高(広島)の選手と対戦しました。同種目は、2本勝った選手が勝利になります。1本目は相手に上手く逃げられて先取されました。後がない状態となった2本目は、宇賀神が相手の隙をみて先行し逃げ切り勝ちを収めました。優勝を懸けた3本目は、相手のスパートに出遅れてしまい、必死に追い上げましたが先着されてしまいました。2本目終了時に、対戦相手の体力の消耗状態からすれば十分にチャンスがあっただけに悔やまれます。

他の種目ではメダルには届きませんでしたが、ケイリンで総合進学部3年福田滉が4位、4km速度競走で情報科学部3年落合悠斗5位、チームスプリントで情報科学部2年川上隆義・3年幸田望夢・宇賀神の3名で6位に入賞。学校対抗成績総合では7位でした。

今年の目標は、「全員入賞して4度目の学校対抗優勝」をするために日々練習に励みましたが僅かに力及ばず達成出来ませんでした。これまで多くの方々にサポートして頂きながら活動している自転車競技部は間もなく40周年を迎えます。一昨年OB・OG会も設立され飛躍するための環境は整っています。今後も『全国制覇』を目標に活動していきますので、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。
 (自転車競技部 顧問 山本宏恒)



医療法人(社団)荒川歯科クリニック

理事長 荒川 敏明 (昭和48年卒)
 宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

藤田勝春法律事務所

弁護士 藤田 勝春 (昭和35年卒)
 宇都宮市清住 3-1-14 ☎028-625-3266

NETIS登録

KT-100005 防草緑化挿し芽植栽工法

株式会社 落合東光園

代表取締役 落合 功 (昭和37年卒)

事務所/河内郡上三川町中子921 ☎0285-56-3751

花と園芸

(株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝 (昭和35年・商3回卒)

宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

文化部 culture

日本管楽合奏コンテスト全国大会で6年連続最優秀賞受賞。

●吹奏楽部

今年のチームは、例年になくチームワークが良く、とりわけ素晴らしいリーダーシップを発揮した3年生の存在は大きく、大会などの様々な行事で数多くの成果を挙げるのに大きく寄与してきました。いつも新鮮な気持ちを忘れず、何事においても能動的に取り組み、最後まで諦めず、挑戦し続けました。自我を抑え、周囲に気を遣い、相手を尊重し、寛大な心を持ち続けました。だからこそ感動的な充実した演奏を実現させることができたのではないのでしょうか。また、部員は実によく練習をします。全員が誠実に基礎を練習し、正しい奏法を身につける事によって美しいサウンドが作られます。自分たちの演奏を録音して、それをよく聴き、よく分析し、質の高い演奏を追求しています。プロを含め他の団体の録音も聴き、自分たちの演奏に活かしていきます。さらに様々な係(役割)を分担し、側面から協調して部活動を支え、依頼演奏・野球の応援・マーチングなどの様々な経験から培われた人間性によって温かみのある演奏が生み出されます。結果として、コンクールで取り上げた「真島俊夫作曲・富士山〜北斎の版画に触発されて」には我々が追い求めてきた音楽性が凝縮され、聴衆に大きな感動を与えられるダイナミックな音楽を奏でることができました。

今年度の大会での成績ですが、第23回東関東吹奏楽コンクールでも美しいサウンドによって聴衆に訴えることができ、4年連続17度目の金賞を受賞しました。第39回栃木県高等学校総合文化祭総合音楽祭吹奏楽部門では吹奏楽部会長賞(第1位)を4年連続受賞し、下野新聞にも大きく掲載されました。そして、第23回日本管楽合奏コンテスト全国大会では6年連続で最優秀賞を受賞しました。また、来年(2018年)に夏の選手権が第100回の記念すべき年にあたりますが、幕張メッセで吹奏楽の応援コンサートを6月第4週に実施予定です。作新学院吹奏楽部も出演しますし、野球部と吹奏楽部ともに活躍する有名校も出演します。詳細は吹奏楽部のフェイスブックに後ほど告知します。楽しみにしてください。

時に音楽は様々な場面で人の心を勇気づけ、癒しを与えてくれます。苦しい時ほどありがたい存在です。また、吹奏楽は様々なジャンルの音楽を演奏でき、音楽性の向上にメリットがあるのも魅力です。益々音楽

で多くの人を笑顔に出来るよう活動していこうと思います。(チーフ顧問 三橋 英之)

第23回日本管楽合奏コンテスト全国大会 最優秀賞

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 加藤 大政(総3) | 宇賀神有矢(総3) | 飯田華奈江(総3) |
| 吉澤 愛(総3) | 刈部 珠乃(総3) | 渡辺 大輝(総3) |
| 矢部 航佑(総3) | 柳田 彩花(総3) | 中嶋 唯(総3) |
| 橋本 恵里(総3) | 吉原 可奈(総3) | 宇賀神啓太(総3) |
| 森 南菜子(総3) | 若尾 涼那(総3) | 館野 真由(英3) |
| 川中子 愛(英3) | 星野 綺花(英3) | 海老沼莉聖(英3) |
| 速水 力(英3) | 松本 七海(英3) | 菊池 舞(情3) |
| 塩田 捺実(情3) | 立川 真央(情3) | 渡邊 楓(情3) |
| 小畑 舞華(情3) | 谷田果奈美(情3) | 鈴木 凌(情3) |
| 大笹 萌(総2) | 栢田 達也(総2) | 菊池佳乃子(総2) |
| 津田明日海(総2) | 土橋 佳奈(総2) | 馬場 健斗(総2) |
| 松本 巧(総2) | 菊地 梨歩(総2) | 室井 柊香(総2) |
| 藏澤 志帆(総2) | 佐藤 梓(総2) | 隅内 隼人(総2) |
| 田中 萌(総2) | 伊藤 奈央(総2) | 大類 鮎美(総2) |
| 鈴木 祐希(総2) | 中野 文華(総2) | 松本 麻鈴(総2) |
| 河合 祐花(総2) | 小菅 暖香(英2) | 茂木 茜(英2) |
| 梶原 愛実(英2) | 齊藤 悠太(英2) | 小林ひかる(情2) |
| 山本めぐみ(情2) | 秋元龍太郎(情2) | 上岡悠梨乃(情2) |
| 高橋美緒奈(情2) | 井津 陽葵(総1) | 中村 萌愛(総1) |
| 島津 和奏(総1) | 山上 みい(総1) | 阿久津奈由(総1) |
| 大竹 史織(総1) | 土肥麻由佳(総1) | 坂内 せら(総1) |
| 安西 千優(総1) | 藤井 季佳(総1) | 山口 永遠(総1) |
| 小倉 遥(総1) | 加藤いづみ(総1) | 柿本 美春(総1) |
| 大島 花菜(英1) | 野澤 舞(英1) | 星野 花織(英1) |
| 中野 久生(英1) | 福丸 敬志(情1) | 東川 佑加(情1) |
| 久保 翔平(情1) | 石坂咲弥佳(情1) | 菅沼 佑花(情1) |



●工業技術部

第12回若年者ものづくり競技大会
八木沼俊貴(情2)自動車整備職種 銅賞

金田商会
代表取締役 金田真麒(昭和35年卒)
宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

金箱工設株式会社(総合設備業)
代表取締役 金箱忠司(昭和46年卒)
宇都宮市雀宮町118-4 ☎028-653-6603
info@kanebako.co.jp
うつのみやCSRまちづくり貢献企業

鈴木整骨院
院長 鈴木 仁(昭和31年卒)硬式野球部OB会名誉会長
副院長 鈴木 和仁(昭和57年卒)
宇都宮市鶴田町 2945-16 ☎・FAX 028-633-8066

傘 総合建設業 株式会社 鱒淵建設
代表取締役 鱒淵孝男
取締役 鱒淵智行(平成11年卒)
建築部 小牧英夫(昭和56年卒)
宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261

作新学院 部活動 OB・OG 会 活動

自転車競技部OB・OG会 代表
黒子 英明 (昭和63年卒)

作新学院高等学校「自転車競技部OB・OG会発足」

平成28年8月に立ち上げ総会を滞りなく開催する事ができましたことにより、作新学院高等学校自転車競技部OG・OB会が発足されました。ご協力いただいた関係各位の皆様にご感謝の意を表しますとともにご報告いたします。

作新学院高等学校は、「文武両道」を指標とし「文」としては、難関大学を目指すトップ英進を平成26年4月に開設したこともあり、現在は、国公立大学、有名私立大学合格者が約200名に上りました。また、「武」としては、平成27年には作新学院高等学校公式野球部が六年連続で夏の甲子園出場という偉業を成し遂げただけではなく、五十四年ぶりに全国制覇を果たし日本一の栄冠を手に入れました。

作新学院高等学校自転車競技部も来年度には40年の節目を迎え、長い歴史のなかでは数々の有名選手

を輩出していましたが、同窓会が存在していなかったこともあり、2020年の東京オリンピックと、その2年後に栃木県で開催される国民体育大会において、活躍できる選手を輩出するための協力をしていくために、OG・OB会を立ち上げる運びとなりました。



今後の活動としては、作新学院大学自転車各部や作新学院自転車競技部保護者会とも連携をはかり、世界で活躍できる選手を輩出していくための協力をしていきたいと、総会の中でも意見が出され満場一致で承認されました。

作新経済同友会の活動

作新経済同友会 須藤 宏明 (普通科平成7年卒)

作新経済同友会は、同窓会の役員を歴任した方々が中心となって、活動に制限のある同窓会と連携を取りながら、異業種の会員による幅広い交流によって会員相互の親睦と経済的な地位向上を目的として毎月一回の定例会を基本とし、季節ごとのイベントを実施しております。

定例会では、外部講師として有識者の講師を招いて勉強会を開催しており常に新しい時世の事柄から宇都宮市の歴史など多彩な話題を提供すると共に、季節のイベントとしては会員のそば打ち名人による「新そばを食す会」、視察研修旅行を行っております。



昨年は6月に水郷潮来、成田航空博物館を視察してきました。水郷潮来では「水郷潮来

あやめまつり大会」が開かれており、面積1.3ヘクタールの広大な敷地に色とりどりのあやめ、杜若、花菖蒲、水蓮が満開の花を咲かせておりました。昭和30年3月に美空ひばりさんの「娘船頭さん」のロケ、昭和31年10月に松竹映画「花嫁募集中」の花村菊江さんが歌った「潮来花嫁さん」の大ヒットなどで有名なサッパ舟に乗りあやめ園沿いに流れる前川を遊覧して、たつぷりと水郷情緒を味わうことができました。

その後、昼食を挟んで成田空港にある航空科学博物館へ。館入り口脇には朝日新聞社で報道に使用されていたセスナ195「朝風」がありその前で記念撮影を行いました。館内には実際の旅客機から取り外したジェットエンジンなどの各種パーツや胴体を輪切りにしたボディなど、滅多に見ることのできない現物展示に度肝をぬかれました。屋上には展望台があり成田空港に離着陸する旅客機がすぐ上空を飛び交っており、日本各地そして世界と繋がっていると感ずることができました。

同窓会組織 (執行役員)

会長	安藤 寛樹(昭和45年卒)	幹事長	鈴木 勲(昭和38年卒)
副会長	三村 松司(昭和35年卒)	総務企画部 部長	小池 国夫(昭和45年卒)
//	吉高神 渡(昭和45年卒)	組織財政部 部長	櫻井 英治(昭和57年卒)
//	小牧 英夫(昭和56年卒)	広報部 部長	渡邊 幸雄(平成4年卒)
//	菅谷 充司(昭和53年卒)	文化厚生部 部長	遠藤 盛(昭和58年卒)
//	渡辺 毅(昭和50年卒)	青年部 部長	安藤 篤史(平成8年卒)
//	福田 勝江(昭和31年卒)	事務局 長	天野 辰美(昭和45年卒)
//	尾花 一浩(平成元年卒)		

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp/>

E-mail:sakushin-dousoukai@sakushin-ogob.gr.jp